



《将来に向けた取組方針》

日新グループでは、マテリアリティの1つとして掲げる「脱炭素社会の実現と環境に配慮した循環型社会への貢献」の課題解決に向け、グローバルかつ長期的な視点から、輸送事業を通じた環境負荷低減の他、再生可能エネルギーへの転換、森林の保全・再生等、我々の住むこの美しい地球環境と生物多様性保全の為の様々な活動を推進します。

取組み事例①：OBP再生材プラスチックパレットの利用

再生プラスチックとOBP（オーシャンバウンド・プラスチック：海岸等に放置され海洋汚染の原因となるプラごみを再資源化したもの）を原材料としたOBP再生材プラスチックパレットを2023年から導入を開始。使用済みプラスチックの有効利用や海洋汚染防止に貢献しています。



取組み事例③：かながわ森林再生パートナー

神奈川県が森林の豊かな恵みを次世代に引き継ぐために取り組む制度で2019年より参画。森林の整備を通じた水源林の保全とその周辺環境の生態系の保護に努めています。



取組み事例②：マングローブ植林活動

当社グループのインドネシア現地法人では、2022年より現地の植林プログラムに参画。マングローブ林の一角に区画の割当を受け、CO₂を吸収する森林資源の拡大、生態系の維持に取り組んでいます。また従業員も植林活動に参加することで環境保全や生物多様性の意識向上にも繋がっています。



今後の課題

生物多様性保全活動の拡大と、それによる従業員の更なる意識向上を課題としています。

社会へ向けたメッセージ

当社グループのパーパスである「世界の人々に感動を運び、地球を笑顔で満たす」のもと事業活動を通じた持続的成長と、生物多様性保全活動による自然環境との共生にも努めてまいります。